

6．教育

6－1．学生状況

1. 入学者数及び出身地

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2024年度	337	309	28	270	67
2025年度	329	307	22	249	80
2026年度	332	305	27	249	83

2. 在学者数

2026年度5月1日現在

1年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	335	56	279	0	0.0%	0	0	0	0	0
2年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	306	60	246	0	0.0%	0	0	0	0	0
3年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	65	6	59	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	706	122	584	0	0.0%	0	0	0	0	0

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 トリマーコース

分野	授業科目名	トリマーコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	2		2
	トリミング理論	2		2
	ネコ学		1	1
	ペット健康管理学		1	1
	トリマー概論		3	3
	愛犬飼育管理論	2		2
	しつけ行動学	1		1
	ペットサロン概論	2		2
	商品知識	1		1
専門教養計		10	5	15
専門演習	PEIAブロンズ演習		5	5
	PEIAシルバー演習		5	5
	ドッグトレーニング	2		2
	サマートレーニング	1		1
専門演習計		3	10	13
専門実習	グルーミング実習	16		16
	グルーミング実習2		16	16
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		16	21	37
専門合計(A)		29	36	65
ビジネス教養	パソコン	1		1
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		4	2	6
総合計(A+B)		33	38	71
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 トリマーコース

分野	授業科目名	トリマーコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	2		2
	トリミング理論	2		2
	ネコ学		1	1
	ペット健康管理学		1	1
	トリマー概論		4	4
	愛犬飼育管理論	1		1
	しつけ行動学	1		1
	ペットサロン概論＆商品知識	2		2
専門教養計		8	6	14
専門演習	PEIAブロンズ演習		5	5
	PEIAシルバー演習		5	5
	ドッグトレーニング	2		2
	サマートレーニング	1		1
専門演習計		3	10	13
実専門	グルーミング実習	17		17
	グルーミング実習2		16	16
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		17	21	38
専門合計(A)		28	37	65
ビジネス教養	パソコン	1		1
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解＆就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		4	2	6
総合計(A+B)		32	39	71
		合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 ドッグトレーナーコース

分野	授業科目名	ドッグトレーナーコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	3		3
	イヌの行動学		2	2
	愛犬飼育管理論	1		1
	ペットフード&業界概論		5	5
	ペット健康管理学	1		1
専門教養計		5	7	12
専門演習	ドッグプレイニング	11		11
	D.I.N.G.O.(ADICT-1)	1		1
	ドッグスポーツ		12	12
	ドッグトレーニング演習1		6	6
	ドッグトレーニング演習2		6	6
専門演習計		12	24	36
専門実習	グルーミング実習	5		5
	ドッグトレーニング	5		5
	ドッグトレーニング2		3	3
	ドッグスクール実習		2	2
	訓練実習	5		5
	PDマネジメント		6	6
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		15	16	31
専門合計(A)		32	47	79
ビジネス教養	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	2	3
ビジネス教養合計(B)		3	3	6
総合計(A+B)		35	50	85
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 ドッグトレーナーコース

分野	授業科目名	ドッグトレーナーコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	2		2
	イヌの行動学		1	1
	ドッグブリーディング	2		2
	愛犬飼育管理論	2		2
	ペットフード&業界概論		4	4
	ペット健康管理学	2		2
専門教養計		8	5	13
専門演習	ドッグプレイニング	10		10
	D.I.N.G.O.(ADICT-1)	1		1
	ドッグスポーツ		10	10
	ドッグトレーニング演習1		5	5
	ドッグトレーニング演習2		5	5
	選択演習(インストラクター専攻・訓練専攻)		11	11
専門演習計		11	31	42
専門実習	グルーミング実習	5		5
	ドッグトレーニング	5		5
	訓練実習	5		5
	PDマネジメント		5	5
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		15	10	25
専門合計(A)		34	46	80
ビジネス教養	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	2		2
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		4	2	6
総合計(A+B)		38	48	86
		合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 動物飼育コース

分野	授業科目名		動物飼育コース		
			1年	2年	単位数
			単位	単位	
専門教養	犬学		1		1
	ネコ学		1		1
	愛玩動物飼養管理論		3		3
	野生動物学		3		3
	水生生物学		3		3
	小動物学		5		5
	小動物学2			3	3
	ドッグブリーディング			1	1
	ペットフード&用品概論			1	1
	ペットフード&用品概論			1	1
	ペット健康管理学			3	3
	ペット業界論			1	1
専門教養計			16	10	26
専門演習	選択ゼミ	野生動物ゼミ		2	2
		水生生物ゼミ			
		小動物ゼミ			
	専門科目	テーマパーク演習&ペットパティシエ		10	10
		動物演習	5		5
		動物演習2		5	5
		猫演習	2		2
専門演習計			7	17	24
専門実習	動物管理実習		5		5
	動物管理実習2			3	3
	PDケア&トレーニング		5		5
	グルーミング実習			2	2
	選択実習(グルーミングor乗馬トレーニング)			2	2
	業界インターンシップ			5	5
専門実習計			10	12	22
専門合計(A)			33	39	72
ビジネス教養	パソコン		1		1
	ビジネストレーニング		1		1
	就職ガイド2			1	1
	自己理解&就職ガイド		1		1
	コミュニケーション		1	1	2
ビジュ初教養合計(B)			4	2	6
総合計(A+B)			37	41	78
			合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 動物飼育コース

分野	授業科目名		動物飼育コース		
			1年	2年	単位数
			単位	単位	
専門教養	犬学		1		1
	ネコ学		1		1
	愛玩動物飼養管理論		3		3
	野生動物学		3		3
	水生生物学		3		3
	小動物学		5		5
	小動物学2			3	3
	ドッグブリーディング			1	1
	ペットフード&用品概論			1	1
	ペット健康管理学			1	1
	ペット業界論			1	1
専門教養計			16	7	23
専門演習	選択ゼミ	野生動物ゼミ			
		水生生物ゼミ		2	2
		小動物ゼミ			
	専門科目	テーマパーク演習&ペットパティシエ		10	10
		ペット栄養管理士		3	3
		動物演習	5		5
		動物演習2		5	5
		猫演習	2		2
専門演習計			7	20	27
専門実習	動物管理実習		5		5
	動物管理実習2			3	3
	PDケア&トレーニング		6		6
	グルーミング実習			2	2
	選択実習(グルーミングor乗馬トレーニング)			2	2
	業界インターンシップ			5	5
専門実習計			11	12	23
専門合計(A)			34	39	73
ビジネス教養	パソコン		1		1
	ビジネストレーニング		1		1
	就職ガイド2			1	1
	自己理解&就職ガイド		1		1
	コミュニケーション		1	1	2
ビジネス教養合計(B)			4	2	6
総合計(A+B)			38	41	79
			合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 キャットプロコース

分野	授業科目名	キャットプロコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	1		1
	ネコ学	4		4
	ネコ学2		3	3
	ネコの繁殖学		2	2
	基礎看護学	1		1
	キャットショー研究		4	4
	ペット健康管理学		2	2
	ネコの行動学	1		1
	愛玩動物飼養管理論	3		3
	栄養学		2	2
専門教養計		10	13	23
専門実習	動物管理実習	5		5
	グルーミング実習	5		5
	グルーミング実習2		12	12
	キャットグルーミング	5	4	9
	キャットグルーミング2		6	6
	ドッグトレーニング	1		1
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		16	27	43
専門合計(A)		26	40	66
ビジネス教養	パソコン	1		1
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	2	3
ビジネス教養合計(B)		4	3	7
総合計(A+B)		30	43	73
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 キャットプロコース

分野	授業科目名	キャットプロコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	犬学	1		1
	ネコ学	3		3
	ネコ学2		2	2
	ネコの繁殖学		1	1
	基礎看護学	1		1
	キャットショー研究		3	3
	ペット健康管理学		2	2
	ネコの行動学	1		1
	愛玩動物飼養管理論	3		3
	栄養学		1	1
専門教養計		9	9	18
専門実習	動物管理実習	5		5
	グルーミング実習	5		5
	グルーミング実習2		11	11
	キャットグルーミング	6	3	9
	キャットグルーミング2		5	5
	ドッグトレーニング	1		1
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		17	24	41
専門合計(A)		26	33	59
ビジネス教養	パソコン	1		1
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		4	2	6
総合計(A+B)		30	35	65
		合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 ホースプロコース

分野	授業科目名	ホースプロコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	騎乗理論	5		5
	騎乗理論2		4	4
	ホーステーピング		1	1
	馬の獣医学	2		2
	指導者理論	2		2
専門教養計		9	5	14
専門実習	動物管理実習	5		5
	動物管理実習2		7	7
	騎乗トレーニング	14		14
	選択演習(騎乗先行、厩務員専攻)		13	13
	指導者トレーニング		2	2
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		19	27	46
専門合計(A)		28	32	60
ビジネス教養	パソコン	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		3	2	5
総合計(A+B)		31	34	65
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 昼間 ホースプロコース

分野	授業科目名	ホースプロコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
専門教養	騎乗理論	5		5
	騎乗理論2		4	4
	ホーステーピング		3	3
	馬の獣医学	1		1
	指導者理論	2		2
専門教養計		8	7	15
専門実習	動物管理実習	6		6
	動物管理実習2		7	7
	騎乗トレーニング	14		14
	選択演習(騎乗専攻、厩務員専攻)		12	12
	指導者トレーニング		2	2
	業界インターンシップ		5	5
専門実習計		20	26	46
専門合計(A)		28	33	61
ビジネス教養	パソコン	2		2
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
ビジネス教養合計(B)		5	2	7
総合計(A+B)		33	35	68
		合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 植物管理科 昼間 フラワーデザインコース

分野	授業科目名	フラワーデザインコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
教 専 養 門	花色彩学	3		3
	フラワー商品知識&フラワービジネス		1	1
	専門教養計	3	1	4
専 門 演 習	フラワー管理	1		1
	フラワーショップビジネス	14		14
	フラワーショップビジネス2		6	6
	植物造形理論		10	10
	いけばな	2		2
	フラワー装飾技能士対策	2	2	4
	専門演習計	19	18	37
専 門 実 習	JIFD実習	5		5
	JIFD実習2		5	5
	フラワークラフト	1		1
	フューネラル専科		1	1
	ブライダル専科		3	3
	フローリスト実践		1	1
	ガーデン栽培実習2		2	2
	ガーデン栽培実習	5		5
	業界インターンシップ		5	5
	専門実習計	11	17	28
	専門合計(A)	33	36	69
ビ ジ ネ ス 教 養	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
	ビジネス教養合計(B)	3	2	5
	総合計(A+B)	36	38	74
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 植物管理科 昼間 フラワーデザインコース

分野	授業科目名	フラワーデザインコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
教 専 養 門	花色彩学	3		3
	フラワー商品知識&フラワービジネス(JFMAオンライン講習含む)		1	1
	専門教養計	3	1	4
専 門 演 習	フラワー管理	1		1
	フラワーショップビジネス	14		14
	フラワーショップビジネス2		6	6
	植物造形理論		10	10
	いけばな	2		2
	フラワー装飾技能士対策	2	2	4
	専門演習計	19	18	37
専 門 実 習	JIFD実習	6		6
	JIFD実習2		5	5
	フラワークラフト	1		1
	アーティフィシャルフラワー	1		1
	フューネラル専科		1	1
	ブライダル専科		2	2
	フローリスト実践		1	1
	ガーデン栽培実習2		2	2
	ガーデン栽培実習	5		5
	業界インターンシップ		5	5
	専門実習計	13	16	29
	専門合計(A)	35	35	70
ビ ジ ネ ス 教 養	パソコン		1	1
	ビジネストレーニング	1		1
	就職ガイド2		1	1
	自己理解&就職ガイド	1		1
	コミュニケーション	1	1	2
	ビジネス教養合計(B)	3	3	6
	総合計(A+B)	38	38	76
		合計単位数		

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物管理科 夜間 トリマーコース

分野	授業科目名	トリマーコース		
		1年	2年	単位数
		単位	単位	
教 専 養 門	犬学	4		4
	ペットサロン概論		3	3
	専門教養計	4	3	7
専門演習	PEIAブロンズ&シルバー演習		5	5
	専門演習計	0	5	5
実 専 習 門	グルーミング実習	13		13
	グルーミング実習2		11	11
	専門実習計	13	11	24
	専門合計(A)	17	19	36
ビ ジ 教 養 ネ ス	自己理解&就職ガイド	2		2
	就職ガイド2/コミュニケーション		1	1
	コミュニケーション	1		1
	ビジネス教養合計(B)	3	1	4
総合計(A+B)		20	20	40
		合計単位数		

令和8年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物看護科 昼間 動物看護コース

分野	授業科目名	動物看護コース			単位数
		1年	2年	3年	
		単位	単位	単位	
専門教養	生命倫理・動物福祉		2		2
	動物形態機能学	3	3	2	8
	動物繁殖学			2	2
	動物行動学	2			2
	動物栄養学	2	2		4
	産業動物学		1	1	2
	実験動物学			1	1
	野生動物学		2		2
	動物医療関連法規			2	2
	動物看護学概論	1			1
	看護実践学	1			1
	動物病理学		2		2
	動物薬理学		2	2	4
	動物感染症学	2	2	2	6
	公衆衛生学		2	2	4
	動物内科看護学	2			2
	動物臨床検査学		4		4
	動物入院管理		2		2
	救急救命対応			1	1
	外科動物看護学			1	1
	動物臨床看護学総論	2			2
	動物臨床看護学各論		2	2	4
	動物疾病看護学		2	4	6
	犬学	1			1
	猫学	1			1
	小動物学	2			2
	人間動物関係学	2			2
	動物生活環境学			2	2
	ペット関連産業概論	2			2
	専門教養計	23	28	24	75
専門演習	動物医療コミュニケーション		2		2
	適正飼養指導論			4	4
	老齢動物臨床検査学			2	2
	老齢動物管理演習			4	4
	専門演習計	0	2	10	12
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ	5			5
	グルーミング実習/飼育管理実習	5			5
	グルーミング実習		6		6
	ドッグトレーニング実習	2			2
	動物臨床看護実習Ⅱ		4		4
	動物臨床看護実習Ⅲ			4	4
	動物看護総合実習			6	6
	専門実習計	12	10	10	32
	専門合計(A)	35	40	44	119
ビジネス教養	コミュニケーション	1	2	2	5
	自己理解+総合実習事前学習	2			2
	就職ガイド		1	1	2
	ビジネストレーニング/パソコン		4		4
	国試対策	1		2	3
	ビジネス教養合計(B)	4	7	5	16
	総合計(A+B)	39	47	49	135
	合計単位数				

令和7年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物看護科 昼間 動物看護コース

分野	授業科目名	動物看護コース			単位数
		1年	2年	3年	
		単位	単位	単位	
専門教養	生命倫理・動物福祉		2		2
	動物形態機能学	3	3	2	8
	動物繁殖学			1	1
	動物行動学	2			2
	動物栄養学	2	2		4
	産業動物学		1	1	2
	実験動物学			1	1
	野生動物学		1		1
	動物医療関連法規			2	2
	動物看護学概論	1			1
	看護実践学	1			1
	動物病理学		2		2
	動物薬理学		2	2	4
	動物感染症学	2	2	2	6
	公衆衛生学		2	2	4
	動物内科看護学	2			2
	動物臨床検査学		4		4
	動物入院管理		2		2
	救急救命対応			1	1
	外科動物看護学			1	1
	動物臨床看護学総論	2			2
	動物臨床看護学各論		1	2	3
	動物疾病看護学		1	4	5
	犬学	1			1
	猫学	1			1
	小動物学	2			2
	人間動物関係学	2			2
	動物生活環境学			2	2
	ペット関連産業概論	2			2
	専門教養計	23	25	23	71
専門演習	動物医療コミュニケーション		1	2	3
	適正飼養指導論			4	4
	老齢動物臨床検査学			2	2
	老齢動物管理演習			4	4
	専門演習計	0	1	12	13
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ	5			5
	グルーミング実習/飼育管理実習	5			5
	グルーミング実習		5		5
	ドッグトレーニング実習	2			2
	動物臨床看護実習Ⅱ		5		5
	動物臨床看護実習Ⅲ			4	4
	動物看護総合実習			6	6
	専門実習計	12	10	10	32
	専門合計(A)	35	36	45	116
ビジネス教養	コミュニケーション	1	1	2	4
	自己理解＋総合実習事前学習	1			1
	就職ガイド		1	1	2
	ビジネストレーニング		1		1
	国試対策	1		2	3
	ビジネス教養合計(B)	3	3	5	11
	総合計(A+B)	38	39	50	127
		合計単位数			

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物看護科 昼間 動物看護コース

分野	授業科目名	動物看護コース			単位数
		1年	2年	3年	
		単位	単位	単位	
専門教養	生命倫理・動物福祉		2		2
	動物形態機能学	3	3	2	8
	動物繁殖学			2	2
	動物行動学	2			2
	動物栄養学	2	2		4
	産業動物学		1	1	2
	実験動物学			1	1
	野生動物学		3		3
	動物医療関連法規			2	2
	動物看護学概論	1			1
	看護実践学	1			1
	動物病理学		2		2
	動物薬理学		2	2	4
	動物感染症学	2	2	2	6
	公衆衛生学		2	2	4
	動物内科看護学	2			2
	動物臨床検査学		4		4
	動物入院管理		2		2
	救急救命対応			1	1
	外科動物看護学			1	1
	動物臨床看護学総論	2			2
	動物臨床看護学各論		1	1	2
	動物疾病看護学		1	3	4
	大学	1			1
	猫学	1			1
	小動物学	2			2
	人間動物関係学	2			2
	動物生活環境学			2	2
	ペット関連産業概論	2			2
	専門教養計	23	27	22	72
専門演習	動物医療コミュニケーション		1	1	2
	適正飼養指導論			4	4
	高齢動物臨床検査学			2	2
	高齢動物管理演習			5	5
	専門演習計	0	1	12	13
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ	5			5
	グルーミング実習/飼育管理実習	5			5
	グルーミング実習		4		4
	ドッグトレーニング実習	2			2
	動物臨床看護実習Ⅱ		5		5
	動物臨床看護実習Ⅲ			5	5
	動物看護総合実習			6	6
	専門実習計	12	9	11	32
	専門合計(A)	35	37	45	117
ビジネス教養	コミュニケーション	1	1	1	3
	自己理解+総合実習事前学習	2			2
	就職ガイド		1	1	2
	ビジネストレーニング/パソコン		3		3
	国試対策			2	2
	基礎学習	1			1
	ビジネス教養合計(B)	4	5	4	13
	総合計(A+B)	39	42	49	130
		合計単位数			

客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料

■成績評価方法

- ・各学年の学期毎（前期・後期）に行う。
- ・①出席率、②定期試験・小テスト、③平常点（提出物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行う。
- ・6段階評価（A～D評価）により行う。

■成績評価基準

- ・A評価（優）・B評価（良）・C評価（可）・R評価（認定）・Q評価（再認定）・D評価（不認定）
- Q評価はD評価で不認定となり再評価を行って認定されたものとする。
- 各評価基準の詳細については、科目のシラバスで表記する。

■成績評価ポイント換算表

A 評価	B 評価	C 評価	R 評価	D 評価
4	3	2	1	0

(Q 評価は評価ポイントを付与しない)

【GPA 評価 計算式】

$$\frac{\text{全科目合計 評価係数}}{\text{全科目合計 単位数}} = \text{成績評価係数（評定平均）}$$

(小数点第3位を四捨五入する)

■令和7年度（2025年度）成績の分布

学生数に関しては年度途中での休学・退学を含む数となっており、令和7年度の年初在籍数とは異なる。

また、成績分布算出後も学生の休学・退学・復学があるため、令和8年5月1日現在の数とは相違がある。

学科名	動物管理科トリマーコース（昼間部）				学年	1 年	学生数	70 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	10 人	0 人	1 人	0 人	7 人	45 人	7 人	
平均値　：　2.74								
下位 1/4 に該当する人数　：　17 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　2.75 以下				
備考								

学科名	動物管理科トリマーコース（夜間部）				学年	1 年	学生数	13 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	2 人	0 人	1 人	1 人	2 人	0 人	7 人	

平均値 ： 2.70	
下位 1/4 に該当する人数 ： 3 人	下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 2.00 以下
備考	

学科名	動物管理科ドッグトレーナーコース				学年	1 年	学生数	50 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	4 人	3 人	3 人	4 人	6 人	9 人	21 人	
平均値　：　2.83								
下位 1/4 に該当する人数　：　11 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　2.10 以下				
備考								

学科名	動物管理科動物飼育コース				学年	1 年	学生数	55 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	0 人	0 人	1 人	2 人	5 人	17 人	30 人	
平均値　：　3.39								
下位 1/4 に該当する人数　：　12 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：3.00 以下				
備考								

学科名	動物管理科キャットプロコース				学年	1 年	学生数	43 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	5 人	1 人	0 人	0 人	0 人	7 人	30 人	
平均値　：　3.27								
下位 1/4 に該当する人数　：9 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　3.33 以下				
備考								

学科名	動物管理科ホースプロコース				学年	1 年	学生数	11 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	3 人	1 人	0 人	1 人	1 人	1 人	4 人	
平均値　：　2.25								
下位 1/4 に該当する人数　：　4 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：1.33 以下				
備考								

学科名	植物管理科フラワーデザインコース				学年	1 年	学生数	9 人
-----	------------------	--	--	--	----	-----	-----	-----

成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	1 人	0 人	0 人	0 人	2 人	4 人	2 人
平均値　：　2.96							
下位 1/4 に該当する人数　：　2 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　2.71 以下			
備考							

学科名	動物看護科動物看護コース				学年	1 年	学生数	80 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	4 人	1 人	3 人	6 人	4 人	15 人	47 人	
平均値　：　3.21								
下位 1/4 に該当する人数　：　19 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　3.00 以下				
備考								

学科名	動物看護科動物看護コース				学年	2 年	学生数	73 人
成績の分布								
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00	
人数	7 人	0 人	1 人	1 人	3 人	13 人	48 人	
平均値　：　3.22								
下位 1/4 に該当する人数　：　17 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数　：　3.19 以下				
備考								

■卒業の要件

- ・該当年度の履修単位を取得すること。

「昼間部 2 年制」

1 年次 31 単位以上、卒業時に総単位数 62 単位以上を
修得していること。

「昼間部 3 年制」

1・2 年次、31 単位以上、卒業時に総単位数 93 単位以上を
修得していること。

「夜間部 2 年制」

1・2 年次、各 17 単位以上、卒業時に総単位数 34 単位以上を
修得していること。

- ・卒業判定に関しては成績並びに出席状況を卒業判定会議等で確認し、卒業要件を満たした者を卒業と認める。
 - ・卒業認定基準については学校ホームページにて公開している。

6－4．主要検定合格率（2025年度）

資格名	級	受験対象	2023年度	2024年度	2025年度
公益社団法人日本愛玩動物協会 愛玩動物飼養管理士	1級	希望者	0%	100%	66%
	2級	A1・C1・その他希望者	58%	65%	77%
全国キャットクラブ認定キャットマイスターベーシック		C1	92%	95%	97%
全国キャットクラブ認定キャットマイスターアドバンス		C2	96%	85%	95%
一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 愛犬飼育管理士		T1・D1	98%	－	95%
全国動物専門学校協会認定 サロントリマー検定	1級	T2	94%	96%	95%
	2級	C2(2級もしくは3級の選択制)	87%	76%	100%
	3級	N2・C2(2級もしくは3級の選択制)	100%	93%	84%
動物看護師統一認定試験		N3	81%	98%	85%
JKCトリマーライセンス	C級	T2	92%	93%	93%
PEIAブロンズクラスライセンス		T2・E2	100%	100%	100%
PEIAシルバークラスライセンス		T2・E2	100%	100%	100%
D. I. N. G. O ADICT-1		D1	100%	90%	85%
優良家庭犬普及協会 マナーハンドラーテスト		D2	100%	100%	58%
ペットフード販売士		D2・A2	80%	88%	91%
JIFDフローラルデザイナー協会		F2	83%	100%	100%
FDAフラワーカラー検定		F1	100%	100%	100%
キネシオテーピング協会 CKTTサーティファイド・キネシオテーピング・トレーナー		H2	100%	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査 3級		H1・H2	100%	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査 馬場2級		H1・H2	100%	80%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査 馬場1級		H1・H2	100%	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査3級障害		H1・H2	100%	100%	－

- ・N1 動物看護コース1年生
- ・N3 動物看護コース3年生
- ・T1 トリマーコース1年生
- ・D1 ドッグトレーナーコース1年生
- ・A1 動物飼育コース1年生
- ・C1 キャットプロコース1年生
- ・H1 ホースプロコース1年生
- ・F1 フラワーデザインコース1年生
- ・E1 夜間部トリマーコース1年生

- ・N2 動物看護コース2年生
- ・T2 トリマーコース2年生
- ・D2 ドッグトレーナーコース2年生
- ・A2 動物飼育コース2年生
- ・C2 キャットプロコース1年生
- ・H2 ホースプロコース2年生
- ・F2 フラワーデザインコース2年生
- ・E2 夜間部トリマーコース2年生

6－5. 卒業後の進路

1. 卒業後の進路状況

卒業年度	卒業者数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2023年度	291	283	276	94.8%	259	17	189	87	0	0	0
2024年度	291	281	277	95.2%	252	25	193	84	0	0	0
2025年度	291	284	283	97.3%	258	25	192	91	0	0	0

2. 分野別内訳

		2023年度	構成比	2024年度	構成比	2025年度	構成比
関連分野	ショップ	69	25.0%	56	20.2%	67	23.6%
	サロン	35	12.7%	44	15.9%	32	11.3%
	動物病院	82	29.7%	95	34.3%	77	27.1%
	訓練所	1	0.4%	1	0.4%	2	0.7%
	しつけ教室	11	4.0%	6	2.2%	5	1.8%
	牧場	5	1.8%	4	1.4%	3	1.1%
	テーマパーク	13	4.7%	2	0.7%	4	1.4%
	ブリーダー	10	3.6%	2	0.7%	6	2.1%
	ホテル業	5	1.8%	5	1.8%	12	4.2%
	その他動物	23	8.3%	30	10.8%	38	13.4%
	フラワー関連	5	1.8%	6	2.2%	9	3.2%
分野外		17	6.2%	26	9.4%	29	10.2%
合 計		276	100.0%	277	100.0%	284	100.0%

3. 主な就職先（2022～2025年度/順不同）

イオンペット株式会社	株式会社AHB	株式会社西武ペットケア
株式会社コジマ	株式会社Aペット	グローバルワン株式会社
株式会社東葛ペット	有限会社ハッピーベル	ソプラ銀座株式会社
株式会社ペピカ	株式会社フローエンス	公益財団法人アイメイト協会
株式会社フロントベル	公益財団法人日本盲導犬協会	遠藤警察犬・家庭犬訓練所
ダクタリ動物病院	荏谷動物病院グループ	千葉seaside動物医療センター
JPB株式会社	ならしの動物医療センター	日本動物高度医療センター
株式会社マザー牧場	那須興業株式会社	鴨川シーワールド
公益財団法人ハーモニィセンター	川崎競馬場	ノーザンファーム
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	株式会社日比谷花壇	株式会社花門フラワーゲート

6－6．教育課程編成委員会

1．教育課程編成委員会の委員名簿（2025 年度）

動物看護科 教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	①	芦澤 尚義	公益社団法人 千葉県獣医師会 事務局長	2 年
2	③	藤村 崇輔	千葉市獣医師会 ふじむら犬猫動物病院 院長	2 年
3	③	周藤 行則	浦安中央動物病院 院長	2 年
4	③	鈴木 唯花	株式会社 アニマルメディカ	2 年
5	③	山下 眞理子	一般社団法人 日本動物看護職協会 事務局長	2 年
6	③	国光 あずさ	ダクタリ動物病院	2 年
7		西村 壽	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 校長	2 年
8		千葉 山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長	2 年
9		鈴木 一弘	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室長	2 年
10		小園 達郎	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室長	2 年
11		植田 慎司	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室・広報室長補佐	2 年
12		青柳 紘枝	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 動物看護チームリーダー	2 年

動物管理科 教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	③	松原 賢	マツハラプロジェクト マネージャー	2 年
2	③	祖一 俊介	株式会社 AHB 営業本部サービス事業部 部長	2 年
3	③	小林 正希	株式会社 COREZON 代表取締役社長	2 年
4	①	細田 信幸	特定非営利活動法人ホワイトスプレnder	2 年
5	③	花島 秀俊	有限会社キティボックス 代表取締役	2 年
6		千葉 山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長	2 年
7		鈴木 一弘	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長	2 年
8		小松崎 悠司	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長補佐・広報室長	2 年
9		鈴木 友子	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長付・就職室	2 年
10		木村 光太	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 教務室長補佐	2 年

植物管理科 教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	③	田中 信夫	株式会社はこねフローリスト 代表取締役社長	2 年
2	③	安部 喜方	株式会社花門フラワーゲート 顧問	2 年

3	③	鈴木 正人	有限会社大黒屋園芸 取締役	2 年
4	①	松島 義幸	一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 専務理事	2 年
5	③	青井 加奈	株式会社レインボウ 業務推進部 部長	2 年
6		千葉 山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長	2 年
7		鈴木 一弘	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長	2 年
8		津島 幸織	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 フラワーチームリーダー	2 年
9		森田 紗季	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 広報チームリーダー	2 年

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体・職能団体・地方公共団体の役職員
 ② 専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者
 ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2025 年度 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
 第 1 回 動物看護科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 9 月 10 日（水）

日時	2025 年 9 月 10 日（水）10：00～11：30	場 所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /記録	青柳 /加藤
出席者	芦澤 尚義 氏 （公益社団法人千葉県獣医師会） 国光 あずさ 氏 （ダクタリ動物病院） 大野 耕平 氏 （千葉 seaside 動物医療センター 院長） ※オブザーバー 西村 壽 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 校長） 千葉 山 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長） 鈴木 一弘 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室長） 小園 達郎 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室長） 植田 慎司 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室） 青柳 紘枝 （専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 動物看護チームリーダー）				
欠席者	藤村 崇輔 氏 （千葉市獣医師会 ふじむら犬猫動物病院 院長） 周藤 行則 氏 （浦安中央動物病院 院長） 鈴木 唯花 氏 （株式会社アニマルメディカ） 山下 真理子 氏 （一般社団法人 日本動物看護職協会 事務局長）				
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5. その他				
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題 1. 委員長挨拶 ○議題 2. 組織確認 ○議題 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて説明 ○議題 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 青柳： ・動物看護総合実習以外での企業連携授業の展開の必要性や内容。				

- ・将来的に企業と連携して何かできる事はないか模索の段階である。
- ・動物看護総合実習では全員が同じ内容を学ぶ事は難しいので、2次診療で使用する機械（MRI・CT）や救急などの学校では習う事の出来ない内容を見学させていただくことは可能なのか。

千葉：

- ・他コースでは外部企業と連携し、技術スキルの上達や就職につながる機会がある。

大野氏：

- ・精神的な苦痛、理想が高く、あこがれと仕事によるギャップなどが原因で動物看護師の離職率が高い。
- ・その為医療の質を改善策として、目標を立てる事、イメージを膨らませる事、例えば救急で働く人をみて刺激になることで離職率を防ぐことができるのではないかな。
- ・MGL学園は高度医療と専門学校と連携していることに感銘を受けた。
- ・実習生には現場を見る事と講義を合わせて理解を深めてもらえるようにしている。
- ・看護師の仕事と授業の内容が繋がらない事がある。現場では命に関わる為実感することが多い。
- ・幕張に4階建ての心臓・神経外科の設立を予定（2027年3月）しており AIK と連携したい。

国光氏：

- ・夜間と日中の仕事内容とスピード感が違う。
- ・動物の助ける最短に適切に臨機応変に行動できる能力が求められる。
- ・また見極められる力も必要とされる。看護師の引継ぎの仕方や獣医師との連携の取り方も見てほしい。
- ・夜間の実習も受け入れ可能（実習受け入れ人数2名が限度）。

小園：

- ・学生に動物の命に向き合う重要さは指導している。
- ・病院の大きさによっては敷居が高く感じてしまう学生もいる。

大野氏：

- ・地域の病院や2次診療のカテゴリーの幅があるので自分に合った病院選びが好ましい。

鈴木氏：

- ・1年次の夏頃から実習だと授業での内容が浅いため、冬から実習のスタートが好ましい。

芦澤氏：

- ・自分に合う病院を実際にみて見極めてもらう事が重要。

植田：

- ・命に向き合う重圧に負けてしまう学生もいる。現場をみて双方を感じ取ってもらう。
- ・現場に送り出す前に学校で何が必要か。

鈴木：

- ・ビジョンが定まっていない学生が長く続けられる方法はあるか。自分を内観する気持ちが大事。

国光氏：

- ・何を目標にして病院で働きたいのか重要視している。また、コミュニケーション能力もやはり必要。
- ・助ける仕事を楽しいと思える事、失敗しても同じことを繰り返さない次に生かすことや挫折しないように実習先も病院以外にも視野を広めてみる。
- ・看護以外の就職先の視野を広げる事も必要。

芦澤氏：

- ・病院実習で自分の適性を見つけて就職してほしい。

国光氏：

- ・迷いを抱える時期になるので将来への不安 無理をしない看護職にこだわらないこともあり。

- 千葉：
- ・長く病院に勤めることが出来るカリキュラムを次回以降の議題としていく。
 - ・次回 2025 年度第 2 回開催は 2026 年 3 月 10 日（火）を予定とする。

以上

2025 年度 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園
第 1 回 動物管理科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 9 月 11 日(水)

日時	2025 年 9 月 11 日(水) 13：30～15：00	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /記録	鈴木 /福島
出席者	祖一 俊介 氏 (株AHB) 小林 正希 氏 (株COREZON) 細田 信幸 氏 (特定非営利活動法人ホワイトスプレnder) 松原 賢 氏 (マツハラプロジェクト) 花島 秀俊 氏 (有限会社キティボックス) 高原 敬子 氏 (DOG SPA!) *オブザーバー 千葉 山 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長) 鈴木 一弘 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室長) 鈴木 友子 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部本部長付 就職室) 木村 光太 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 教務室長補佐 トリマーチームリーダー) 福島 詩菜 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 教務室 ドッグチームリーダー)				
欠席者	小松崎 悠司 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長補佐 広報室長)				
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5. その他				
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ・鈴木より開会の宣言 ○議題 1. 委員長挨拶 ・特定非営利活動法人ホワイトスプレnder 細田信幸氏より開会の宣言 他国も多彩な技術を取り入れている。 以前は日本から韓国に技術を教えていたが、現在は韓国から日本へ技術を伝えている。 他の専門学校にはない取り組みを導入していく必要がある。 ○議題 2. 組織確認 ・今回はオブザーバーもあり、改めて自己紹介を行った。 ○議題 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて説明 鈴木				

- ・昨年の教育課程編成委員会で助言を頂き、トリマーコースでトレーニング授業、ドッグトレーナーではイベントへの企画～出展など、学校として新たな試みにチャレンジさせて頂いている。
- ・『保護』がメディアなどで取り上げられているため、学生の注目度も高く、業界としても発展していく分野だと思うので在学中に触れさせていきたい。
- ・『保護』をカリキュラムに導入するには、どのようにしていくと良いかご助言いただきたい。

松原氏

- ・帝京科学大学ではペットビジネスの授業内で保護活動について授業を導入している。
- ・数年前よりも保護活動の認知度が上がっているので学生のベースも変わってきている。
- ・麻布大学に動物保護センターが設けられる。大学の敷地内に保護センターがある大学は全国で2校目となる。

祖一氏

- ・AHBはブリーダーと協力し、ブリーディング引退犬やハンディキャップのある犬を対象として譲渡している。
- ・猫のトリミング需要は業界としても伸びているが、知識のあるスタッフや扱えるスタッフが少なく労災も多いので拡張しづらいのが現実。

高原氏

- ・GoGogroomersとして活動をしていると「どのような譲渡がされるのか?」「譲渡は直接引き取れる」ことなど基本的なことを質問してきたインターンシップ生もいる
- ・グルーミングボランティアには1人のみの参加よりも数名の学生で参加する方が受け入れてくれる保護センターもある。1度に10名の参加は難しいと思う。
- ・保護センターの現状を見ることもできる。
懸念点としては死と隣り合わせの現場であること、糞尿まみれの犬たちは普段は用いられないトリミングの技術が必要となることもある。犬の心のケアや飼い主様へのアフターフォローが必要な現場のため学生にはどう受け止められるかが心配。
- ・ハッピーグルーミングコンテスト内で保護犬のカット部門を作った。エントリーには2万円掛かってしまいがネットで応募をしたところ3分で定員オーバーになってしまった。保護犬のトリミング需要はある。

音響やライトなど環境に慣れていない保護犬(数日前に保護されてた犬)に対するアプローチ方法を披露する

SNSと連動させて保護犬や団体を追いかけられるようにもした。

- ・中小企業やオーナートリマーの個人店では、猫のトリミングを始めたくても新人に時給が発生するため始めていないサロンは多い。
- ・飼い主様から聞き取るコミュニケーション能力も必要で猫の飼い主様のライフスタイルに合わせてくれるカットやグルーミングができるとよい。
- ・犬と猫によって種類が違うため動きが異なる。人も動物も危険が伴うため予想が出来ないと扱うのは難しい。

細田氏

- ・岩手県の動物愛護センターではトレーナーが1名しか在籍していなかった。
専門学校が介入し、各コースの特徴を使ってみてはどうか、と提案をしたことがある。野犬も多く収容されているので危険は伴う。
- ・自社では3か月くらいトレーニングをして、トリミング慣れや人慣れをさせてから団体へ帰す活動をしていた。
- ・千葉県などから推薦された形を取って行政と連携を取り、特定の団体のみで組まずに進めてみてはどうか。
- ・犬の方が導入しやすいのではないか、人慣れなども猫より犬の方がしやすい

小林氏

- ・保護活動を知る機会を作ることが大切。団体によりデリケートな部分もあるので特定の団体のみと組まずに数団体と組む。行政と一緒に取り組んでいくことが良い。

花島氏

- ・野良猫は人慣れしていないためどのように慣れさせていくか、飼い主様への指導方法などを学生へ教えてあげる。知ることで学ぶこともある。一か所の団体ではなく複数の団体へ見学することと行政と一緒に取り組むことが必要。
- ・猫のグルーミングでお客様から求められるのは、毛玉のカットや犬のようにサマーカットをして欲しいと望まれることも多い。
- ・学校ではそのような技術を教える授業がない。サロンでは暴れる猫や咬みつく猫もいるので保定の技術がある卒業生が出て欲しい。保定が出来ないと現場で怪我をする危険がある。
- ・日本猫の短毛種はシャンプー後の仕上がり、フワっとして分かりやすくリピート率もある。日本猫だからと言って気性が荒いことはなく、どの猫も社会化をさせないと気性は荒くなる。
- ・学校猫は良い子が多く、凶暴な猫の練習は出来ない。ただ、授業内で技術を教えるのであれば大人しい子がいい。ブリーダー連携の授業があるので、その中で授業展開を構想してみてはどうか。

鈴木

- ・『保護』をカリキュラム内に取り入れるためにブリーダーの基へ行きトリミングを実施していこうと考えている。

木村

- ・人手不足などが理由で美容まで手が回っていないブリーダーと企業連携し、運搬できな個体に対応する為に企業に出向き美容を行う。お互いにとって win-win の関係性を構築する構想を説明。

細田氏

- ・ブリーダーによるが、ショーイングしているのであれば被毛の状態を考えると学生が洗うよりも自分や弟子にやらせた方がよい。繁殖がメインなのか、ショーイングしているかによると思う。

祖一氏

- ・繁殖がメインのブリーダーは、少しでも多くの犬たちがトリミングをしてもらえるのは嬉しいと思う。

木村

- ・トリマーチームとしても保護に関わらせたいという欲求はあるが、保護犬の美容は安易に素人が関わって良いものではない。未熟な学生が美容する事によって美容嫌いになる可能性もあるため踏み出せない。

○議題 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換

高原氏

- ・学園で卒業後も技術面などのサポートプログラムの作成は出来ないのか。20代～30代を対象。
 - ・学園を卒業してから学校で習った技術だけでは通用せず、壁に当たる。人間関係も重なると離職してしまう。
- 離職後も諦められずに再就職を目指している人は多い。今後は卒業生にも学びなおしをする必要がある。

花島氏

- ・転職時に学園でサポートはできないか。

祖一氏

- ・新卒者でも中途採用でも欲しい。

- ・次回 2025 年度第 2 回開催は 2026 年 3 月 11 日（水）を予定とする。

以上

2025 年度 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園
第 1 回 植物管理科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 9 月 11 日(木)

日時	2025 年 9 月 11 日(木) 10：30～12：00	場所	長柄ドッグヒルズ イベントホール	進行 /記録	津島 /森田
出席者	田中 信夫 氏 (株式会社はこねフローリスト 代表取締役社長) 安部 喜方 氏 (株式会社花門フラワーゲート 顧問) 鈴木 正人 氏 (有限会社大黒屋園芸 取締役) 松島 義幸 氏 (一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 専務理事) 青井 加奈 氏 (株式会社レインボウ 営業推進部 部長) 千葉 山 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長) 鈴木 一弘 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室長) 津島 幸織 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 学校職員 フラワーチームリーダー) 森田 紗季 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 学校職員 広報チームリーダー)				
欠席者	なし				
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 2025 年度前期報告 4. カリキュラムについてのご意見 5. その他				
議事録・経過要領	○今回は長柄ガーデンの見学を実施。千葉キャンパスから定刻で長柄に到着し、委員全員で津島の案内によりガーデンおよび温室の見学を行った。  ○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題 1. 委員長挨拶 千葉より開会の宣言 ○議題 2. 組織確認 委員会各メンバーの紹介を実施 ○議題 3. 2025 年度前期報告 鈴木・津島より 2025 年度の運営について、企業連携科目、学生状況、行事、ライセンスについて説明 企業連携科目についての報告 フラワービジネス：Soon 株式会社 黒山様の授業では実際にアプリ (Cap cut) を用いて展開した。 SNS の撮影において GoPro やドローンの使用が増えている。 刃物の扱い方や手入れの仕方について(玉島産業株式会社)				

- ・フラワー装飾技能士3級：初の1・2年合同受験。合格率94.4%(1年生：87.5%/2年生：100%)
次年度から1年生は3級受験、2年生は2級受験(3級合格者のみ)

○議題4. カリキュラムについて、その他のご意見

松島氏：長柄ガーデンが素晴らしかった。土壌改良から学生が携われるのは良いこと。大手ショップでは生産者を訪問する機会もあるので学生から育成に関われるのが貴重な機会。

青井氏：長柄ガーデンは贅沢な環境と感じた。学校としてもっと打ち出して良いと思う。(株)レインボウでも若手を中心に生産者訪問した。今後、長柄ガーデンにイングリッシュガーデン作るなどのデザイン性を持たせられたらさらに良い。

安部氏：1・2年生ともにカリキュラムの充実度が良い。花業界に入ると生産の現場を見ることがなかなかできないので、学生時代に育成に触れられるのはとても良いこと。学校の周辺にプランターを置き、植え替えや手入れ・花壇のデザインなどをカリキュラムも入れられれば、レイアウト・季節の花や仕入れ等を学ぶことができるのでは。仲卸などの物流について勉強できる機会があっても良い。

広報的にも長柄ガーデンでのイベントを積極的にできると良い。小学生を対象にしたイベントもありではないか。

鈴木氏：長柄ガーデンは元々「風のガーデン」というテーマがあって、そのテーマに近づいている印象。

フラワークラフト、アーティフィシャルフラワーの科目について質問あり。→室内装飾など、室内で花や観葉植物を楽しむためのデザインや知識をカリキュラムに含められたら良いのでは。就職を見据えてもう少し多くの資格(室内園芸装飾技能士)などを取得できると、資格手当などをもらえることが多い。

今後、授業見学をしたい。卒業生からも授業見学の希望が出ている。

田中氏：広大な敷地に感動した。花だけない、ガーデンも所有している学校はほかにはない。さまざまな種類の植物を扱っているのが、ガーデニングや花壇管理・樹木を活かした学びを取り入れられたらさらに良い。

ガーデンのグリーンや樹木を活用して、管理だけではなく「庭造り」もできるのではないかな。自分で育てることでお客さまにも還元できることがある。

- ・ブライダル希望者とAIKのフラワーデザインコースとの親和性について

ブライダルフラワー希望者が、AIKのカリキュラムに「育成・生産」があるがヒットするか？

→青井氏：マッチしづらいと思われる。

田中氏：ブライダルフラワーとはいえ、「コーディネート」することが多い。

鈴木氏：室内装飾やデザインを学べる機会が設けられればより良い。

次回 2025 年度の第 2 回開催は 2026 年 3 月 10 日（火）を予定とする。

以上

2025 年度 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

第 2 回 動物看護科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2026 年 3 月 10 日（火）

日時	2026 年 3 月 10 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00	場所	千葉キャンパス 1 号館 50 1 教室	進行 / 記録	青柳 / 加藤
出席者	芦澤 尚義 氏 (公益社団法人千葉県獣医師会) 藤村 崇輔 氏 (千葉市獣医師会 ふじむら犬猫動物病院 院長) 周藤 行則 氏 (浦安中央動物病院 院長) 鈴木 唯花 氏 (株式会社アニマルメディカ) 国光 あずさ 氏 (ダクタリ動物病院)				

	西村 壽 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 校長) 千葉 山 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長) 鈴木 一弘 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室 室長) 小園 達郎 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室 室長) 青柳 紘枝 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 動物看護チームリーダー)
欠席者	山下 眞理子 氏 (一般社団法人 日本動物看護職協会 事務局長)
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5. その他
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題 1. 委員長挨拶 ○議題 2. 組織確認 重点方針について： 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園事業本部長 千葉より 2025 年度の重点方針総括および 2026 年度の重点方針について説明した。 ○議題 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて説明 ・ 教務室動物看護チームリーダー 青柳より 2026 年度教育課程表、学生在籍数、認定行事等について説明した。 ・ 3 年次「動物臨床看護学各論」と「幼齢高齢動物管理」を統合し、通年の「動物臨床看護学各論」とする ・ 2 年次の「パソコン」授業廃止 ・ 2026 年度認定行事 業界見学：1 年→千葉県獣医師会学術年次大会、2 年→合同就職セミナー ○議題 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 3 年生は 2 クラス運営をしているが、一方のクラスの入学満足度が少し低めであったことから、その原因と考えられる学生たちの心理的安全性について意見交換をした。 青柳：学園生活満足度が低いクラスは心理的安全が確保されていないという共通点がある。国試対策やモチベーションの維持にも影響があるため、クラス内の心理的安全の確保が課題だが、各動物病院の心理的安全の確保にはどのような工夫がされているのか。 周藤氏：クラスによって就職率の差はあるのか。 自立している人材は個人病院より組織の病院を選ぶ傾向がある。 小園：仲が悪いクラスの就職内定の時期が早かったが、仲の良いクラスは遅かった。 国光氏：命と関わる為、厳しさだけではなく楽しさや生きがいを持って働ける環境も重要。 状況をわきまえながらあだ名で呼ぶ事により親近感を持ちやすくなりコミュニケーションが取りやすくなるので、授業では自己紹介に呼んでほしい名前を聞くと親近感が持ちやすいかもしれない。 鈴木氏：24 時間診療なのでスタッフを集める事が難しい。 その為、業務数をこなしながらチームワークを作っている。 授業では席替えの頻度を増やし、いろいろな人との交流を増やす機会をもうけるのはどうか。 大野氏：好きな人同士のみで働く事ができない。コミュニケーション不足により誤解などすれ違ってしま

うので誰とでも報連相ができることが必要。
 チームを組ませることにより、チームの上司と必ず話せる環境を作り、必然的に話すことができ報連相ができるようになる。授業では席替えが有効なのではないか。

周藤氏：クラス替えはどうか。
 千葉：学校のシステム上クラス替えは難しいかもしれない。
 藤村氏：席替えは有効と考える。
 大野氏：実習授業におけるチームは何名体制で運営しているか。
 青柳：実習班は4名で構成している。能動的に行動できチームを引っ張る人材が必要。

○どのような人材を希望するのか？
 西村：学生に『常識』の範囲が伝わらない。社会に出るうえで身につけてもらいたい『常識』はあるか。
 国光氏：挨拶ができるようになってほしい。常識範囲内が分からない学生も一定数いる。
 小園：授業では実習の成功例と失敗例や評価表を見せ、挨拶の指導もしている。
 鈴木氏：自分で考えて正しい敬語が使えない事が多い。電話対応が苦手な新人も多い。
 学生のうちにアルバイト経験を通じて敬語や電話対応を学んで欲しい。
 また自分で練習したり、学ぶ姿勢も社会では必要。
 小園：敬語や電話対応の練習になるように就職室や学務の受付を電話にした。
 千葉：「なりたい自分が分からない、やる気が出ない」という学生もいるので、後期のカリキュラムに前期を振り返る時間を作り自分の成長を自覚する機会を作るなどしてモチベーション高めることが有効ではないか。

・次回 2026 年度第 1 回開催は 2026 年 9 月 9 日（水）を予定とする。

以上

2025 年度 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
 第 2 回 動物管理科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2026 年 3 月 11 日(水)

日時	2026 年 3 月 11 日(水) 10：00～11：30	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /鈴木	記録 /福島
出席者	松原 賢 氏 (マツハラプロジェクト マネージャー) 祖一 俊介 氏 (株式会社 AHB 営業本部サービス事業部 部長) 小林 正希 氏 (株式会社 COREZON 代表取締役社長) 細田 信幸 氏 (特定非営利活動法人ホワイトスプレnder) 花島 秀俊 氏 (有限会社キティボックス 代表取締役) 高原 敬子 氏 (DOG SPA!) *オブザーバー 千葉 山 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長) 鈴木 一弘 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室長) 鈴木 友子 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長付・就職室) 木村 光太 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 教務室長補佐・トリマーチームリーダー) 福島 詩菜 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 ドッグチームリーダー)				
欠席者	小松崎 悠司 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長補佐・広報室長)				
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5. その他				
議	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した				

旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。

○議題 1. 委員長挨拶

- ・特定非営利活動法人ホワイトスプレnder 細田信幸氏より開会の宣言

○議題 2. 組織確認

- ・教育課程編成委員会メンバーの自己紹介

○議題 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて説明

*昨年 10 月に設立された（一社）キャットプロトリーマー協会について

- ・花島氏：

お店によって技術の差がバラバラでお客様がお店を選びにくい。

資格があることでお客様が選べるお店が増え、猫たちが少しでも綺麗になる頻度を増やしていくために、キャットグルーマー資格とキャットトリマー資格を設置。

キャットグルーマー資格：短毛種の猫のシャンプーや部分カット

キャットトリマー資格：長毛猫の全身のカットが出来る

数時間や数頭トリミングをするだけで取得することが出来るような資格にはしたくない。

- ・木村：

犬を使用したトリマーの試験や大会は一部の大会を除き大人しいモデル犬で挑むが、貴協会のライセンスはどういった子の美容を想定したライセンスなのか。

- ・花島氏：

試験で使用する猫は大人しい猫や、トリミングに慣れた猫を使うのが望ましい

ZCC に加盟している学校は全国で 15 校程度あるが、ちば愛犬のように生体を使った授業を行っている学校は少なく、ZCC とは内容的にも差別化ができています。

*キャットプロコースの今後について意見交換

- ・千葉：

キャットプロコースの募集を停止した現状がある(2026 年度生は 48 名)

募集を停止したが入学希望者は他にもいた事実がある以上、受け入れられる体制を整え、もう少し入学生を増やしたい。70 名の想定でカリキュラムを作成していきたいと考えているが現状何が想定されるか。

- ・花島氏：

学生がたくさん入り学ぶことが出来る環境を作ることが出来るのは良い

学生数に対して猫の頭数確保（120 匹が理想）と、人員の確保を優先的に考えないと現実的には難しい

猫の繁殖は取り入れないのか。学生時代に実際に見ることが出来て命の尊さを学ぶことが出来る。

学園で繁殖するならカットが必要な猫種を増やした方が良い。

- ・祖一氏：

仔犬仔猫の契約ブリーダーがたくさんあるので、紹介が出来る。

ハンディキャップのある犬や、ブリーダー引退犬のセカンドキャリアとして学校犬にするのはどうか。

ブリーダー引退犬は 6～7 歳になっている可能性はある。

繁殖の年齢制限が法律であるため、年齢が高齢になるのは仕方がない。

- ・高原氏：

トリミングサロンに来る猫は家で飼い主様がお手入れできない猫がほとんど来る。

実際の現場は大人しい猫は少なく、学校で扱ってきた猫とのギャップがある新卒がいる。

猫のトリミング専門としての就職は厳しい。犬のトリミングもできるべき。

猫のアレルギーを持っているトリマーも多い。

- ・祖一氏：

猫のアレルギーを持っているスタッフは 3 人に 1 名くらいいる。

怪我のリスク等も含めて2名で1頭のトリミングを行うため人数が必要となる。

＊PSG（保護譲渡指導員・愛犬救命士）/任意資格について

・鈴木（一）：

今年度開催した任意参加の特別授業 PSG 保護譲渡指導員・愛犬救命士は当初 50 名程を想定して募ったところ、120 名の募集があり保護に興味のある学生の多さを実感した。

・松原氏：

今の流行りとして SNS で流行るように動画が編集されてしまうこともあり、単純な議論が飛び交ってしまうことがある保護団体側としては「本当にこのままで良いのか」と疑問がある。

・木村：

トリマーコースに入学してきた理由の半数以上が「保護に関わり合いたい」と回答する学生がいる中には、職業として目指している学生も多くいるのでボランティア活動で関わることが多いことを伝えている。

○議題 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換

＊各コースで取り組んでいる企業連携について

・木村：

ドッグトレーナーコース/小林氏によるドッグプレイニング授業内での実施
ホースプロコース/ JRA による特別授業の実施、校外学習 JRA イベントへの参加・見学、競馬場での厩務員実習の実現

トリマーコース/細田氏による特別授業フィジカルサポートの実施(任意参加)

外部イベントへの参加(実績：3 件)

ONE'sCollege (11 月) ①動物看護コース：救命救急体験 ②ドッグトレーナーコース：ゲーム大会

PETEMO フェス(11 月) ①ドッグトレーナーコース：しつけ体験 ②トリマーコース：お人形のカット体験

Dog's マーケット(2 月) ①動物看護コース：聴診器で心音を聞く体験②トリマーコース：ブラッシング講座

・細田氏：

イベントに関して徐々に参加することが増えてくれて嬉しい。

講座関連がありとてもいい。

一般的に取り扱っているような内容をしていても仕方がない。

・小林氏：

イベントの参加は、学校では体感することが出来ないことが経験できる。

学園では見る事が出来ない姿が見ることが出来ていい。

成功体験を積み上げることが出来るので、イベントの参加は教育的な効果が高い。

昔は『出来ないことを出来るようにする』ことを意識づけてきたが、現代では教育と現場の差があるのも事実である。ただし接客の部分は軟化していない。

最終的には接客業のため挨拶や声を出すという部分は今後も必要となる。

・鈴木（一）：

学生指導の上で、何が大切になってくるかご意見を伺いたい。

・高原氏：

カウンセリングスキルが必要となる。

いろいろな飼い主様がいるため、イメージしているカットスタイルや、求めていることを理解していないとカット後にクレームとなる場合がある。

飼い主様の生活スタイルによっても不向きなカットもあるため、カウンセリングで細かく飼い主様がイメージ

しているデザインとカットするトリマーのイメージを共有する必要がある。

イラストや文字に起こして共有することも大切。

昨今の飼い主様はこだわりが強い方も多く、自分でプロワ－からハサミまで揃えてカットしてしまう時代になってきた。イベントで出店をしているプチトリミングやシャンプーなしのカットコーナーで切ってもらいながらトリマーの動きを見て学ぶ飼い主様も増えている。

・花島氏：
自身のお店では、インターン生マニュアルを独自に作成し配布している。
しっかり読み込む学生と読み込まない学生がいる。
勝手に育つ人材を採用側は見極めなくてはいけない。
挨拶は基本となるので、挨拶1つでインターン生にも企業側にも安心感が生まれる。

＊次回 2026 年度第 1 回開催は 2026 年 9 月 9 日（水）を予定とする。

以上

2025 年度 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園
第 2 回 植物管理科 教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 3 月 10 日(火)

日時	2026 年 3 月 10 日(火) 13：30～15：00	場所	千葉キャンパス 1 号館 501 教室	進行 /津島	記録 /森田
出席者	田中 信夫 氏 (株式会社はこねフローリスト 代表取締役社長) 鈴木 正人 氏 (有限会社大黒屋園芸 取締役) 青井 加奈 氏 (株式会社レインボウ 業務推進部 部長) 鈴木 一弘 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室 室長) 小松崎 悠司 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長補佐・広報室 室長) 津島 幸織 (専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 フラワーチームリーダー・就職室)				
欠席者	安部 喜方 氏 (株式会社花門フラワーゲート 顧問) 松島 義幸 氏 (一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 専務理事)				
議題	1. 委員長挨拶 2. 組織確認 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5. その他				
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題 1. 委員長挨拶 ○議題 2. 組織確認 ・委員会組織確認（資料：各委員会名簿） ○議題 3. 現行カリキュラム及びライセンスについて説明 ・授業内容 ・企業連携科目 ・ライセンス内容				

○議題 4. 来年度以降のカリキュラムについての意見交換

- ・ 鈴木氏：以前、授業見学をしたときに授業内容が学生の意欲をかき立てるような内容に感じなかった。別の授業も見て、参考にしたい。授業というよりは習い事の教室のような雰囲気を感じた。もっと違った素材・色の花材を使ってアレンジが完成した時の感動を感じさせられるといいのでは。いろいろな方に授業を見ていただいて、意見をいただくことも必要か。フラワーショップビジネスとフラワービジネスをまとめて一つの授業として成立させられそう。フラワーショップビジネスの中で収支についてもっと触れられる内容があると良い。JIFD 実習、ガーデン栽培実習は必要な科目だと考える。さらにカリキュラムを充実させるのであればより専門的な人材を確保する必要がある。(生産者など) イベントなどで植物を扱うこともできるので、インターンシップや特別授業として実施可能。男子生徒の魅力付けとしてはグリーンが良い。
- ・ 青井氏：他の同分野専門学校に行く機会もあるが、学生数(留学生含む)が増えている。他校に比べるとちば愛犬のカリキュラムの充実度は高いと思う。婚礼件数東京は増加、地方は減少傾向。お花を学ぶ学生のコミュニケーション能力は低めと感ずるので、姉妹校のブライダル学科とコラボレーションする授業を実施してコミュニケーション能力や取り組み方を学生に体感させられると良いのでは。作るだけではない、お客さまとのコミュニケーションを学べるカリキュラムがあると良い。レインボウでも2年目の研修で収益や損益について学ぶ機会を設けている。韓国にインスピレーションを受けている若者が多い、韓国っぽさを取り入れたイベント内容は高校生の反応が良くなるのでは。
- ・ 田中氏：AIを活用して企画などを立案することが増えた。提案・企画等の力を伸ばすための社内研修を強化している。このような時代だからこそフラワーデザインだけでなく、プラスアルファで学べる魅力があると良いのでは。すでに業務でAIを活用して営業をしている。ビジュアル的にすぐ可視化できるようなやり方ができるような人材を育てるために会社として取り組んでいる。今後、フェイクグリーンを使ったアレンジや空間デザインを学べるのも良いと思う。男女問わず受け入れられやすい内容になるのでは。

*新カリキュラムに向けての検討事項

- ①姉妹校ブライダル科との合同授業。コミュニケーション能力の向上を図る。
- ②フラワーショップビジネスとフラワービジネスの統合。フラワーショップ運営で学生に収支やPLについて学ぶ機会を設ける。
- ③AI やそれに付随するツール(Canva)の使い方を学び、提案・企画力を身につける。
- ④専門性の高い分野を学んだ講師の採用。(生産系の講師は鈴木氏の紹介をいただくことも可能)
- ⑤校外学習や企業連携授業(インターンシップ含む)の実施し、高校生に対して魅力のある授業内容の発信。
- ⑥フェイクグリーンを活用した授業の展開。募集商品として男女問わず興味をもってもらえる分野ではないか。

○議題 5. その他

- ・ 授業改善アンケート結果
- ・ 次回 2026 年度第 1 回開催は 2026 年 9 月 10 日(木)を予定とする。

以上

6－7. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会の委員名簿

「学校関係者評価委員会」

No.	氏名	所属	任期
1	安部 喜方	企業等委員	2年
2	芦澤 尚義	企業等委員	2年
3	小林 正希	学校関連企業	2年
4	根本 美輝	学校関連企業	2年
5	長谷川 大	学校関連企業	2年
6	鈴木 唯花	卒業生代表	2年
7	船倉 千代子	近隣住民代表	2年
8	黒川 智洋	学校関連企業	2年
9	富田 祥史	卒業生代表	2年

2025 年度 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
学校関係者評価委員会議事録

作成日:2026 年 3 月 10 日(火)

日 時	2026 年 3 月 10 日(火) 10:00～11:30	場 所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /小林	記録 /齋藤
出席者	安部 喜方 氏(株式会社花門フラワーゲート 顧問) 芦澤 尚義 氏(公益社団法人千葉県獣医師会 事務局長) 根本 美輝 氏(株式会社バイエフエム 本社営業部営業課・事業開発部 主任) 小林 正希 氏(株式会社COREZON 代表取締役社長) 長谷川 大 氏(株式会社ニッセイアド 代表取締役) 黒川 智洋 氏(株式会社スワット 代表) 鈴木 唯花 氏(卒業生代表) 富田 祥史 氏(卒業生代表) 船倉 千代子 氏(近隣住民代表) 西村 壽、千葉 山、鈴木 一弘、小松崎 悠司、鈴木 友子、小園 達郎、槍崎 さやか(学校職員)				
欠席者	なし				
議題	1、学校関係者・委員挨拶 2、委員長挨拶 3、学校報告 4、2025年度自己点検評価及び学校関係者評価 5、今後の学校運営についての意見交換				
議事録・経過要領	○定刻 進行役が開会を宣し上記の通り委員全員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○学校関係者挨拶・委員紹介 ・学校職員紹介 ・委員紹介				

○議題1. 委員長挨拶

・委員長代理の小林氏より、挨拶を行った。

○議題2. 議題. 校長挨拶・学校報告(千葉本部長より)

・校長挨拶

・2025年度運営の振り返り(重点方針、学生状況、学園生活アンケートの結果、重点方針)

各チームにおける理想像の可視化・退学率の改善

1号館6階キャットフロア建設、おゆみ野ドッグサイト(DS)完成(エントランス・小動物園・アクアリウム)

3年間に渡るの中期計画が一通り完了した

中学生に向けた新たなアプローチ

行事の見直し、学園祭(2年必修/1・3年任意)

新たな「学生との座談会」実施

頭数の確保・物価高で飼料/治療食代等が増額

募集要項上の学費増額(バス代等の増額による)

・2026年度運営について(重点方針、新校舎、学生状況、組織、年間予定)の報告

チーム主体の環境整備・犬舎の整備・DH外壁整備・コマシラバス全科目整備し情報公開目指す

ドローンの活用継続検討

スポフェス(1年必修)学園祭(2年必修/1・3年任意)の継続

入学金値上げ

・募集活動について(今年度の募集活動報告、今後の募集活動について)

昨年度比増・中学生に向けたアプローチ・HP/SNSの活用強化

○議題3. 2025年度学校関係者評価 (資料):「自己点検・評価表」

・2025年度の自己点検・評価表を元に、学校関係者評価委員による評価を行った。

(別紙学校関係者評価表参照)

→全体的に一年間継続して高評価を受けている。評価点数変更・意見・改善方策等は以下の通り。

*大項目1、学校の教育目標及び大項目2、本年度に定めた目標や計画は変更なく、メンバーと共有した

*大項目3、評価項目の達成及び取組状況について以下の通り、小項目を一つずつ精査(評価)した。

1.教育理念・目標

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

【補足として】

2026年度より新たに学生と保護者とのコミュニケーションツールを導入する。保護者自身が登録でき、今後成績表等の学生管理について迅速に情報を配信でき且つこれまで紙ベース対応であった内容をデータ化することも可能となる。

2.学校運営

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

3.教育活動

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

4.学修成果

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

5.学生支援

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。

*評価点数変更[2](やや不適切)がある項目

【意見】

小林氏:夜間廃止に伴い、社会に対しての提供できていないとの判断。

【改善方策】

募集段階で夜間部希望がほぼいなかった。同時期ではここ数年初めてのケースであった。
需要がないことに加え、スタッフ及び犬の負担への配慮もあり、別の形で需要に対して実装したい。

6.教育環境

海外研修はあるか *評価点数変更[2](やや不適切)がある項目

【意見】

小林氏:実際に赴いてほしいが、情勢もあるので、上手くオンラインも活用してほしい。

自社でもオンラインを活用した海外との交流を次年度実施予定。

【改善方策】

費用面や情勢もあり、海外研修が募集増加につながるとは考えにくい。

海外研修よりも、今は学生数も増えているので、授業の環境改善等に注力する。

また、オンラインでの海外の学生と交流する機会を、台湾や韓国などつながりがある国を中心に検討する。

7.学生の受入れ募集

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

8.財務

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

9.教育の内部質保証システム

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

10.社会貢献・地域貢献

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

11.国際交流

自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

○議題4. 今後の学校運営についての意見交換

意見の前の議題提案

鈴木一弘副本部長:

DHで実施した同窓会にて名刺の持参を呼びかけ、業界の情報交換や企業・個人間の交流を促進した。その結果、仕事の拡大につながり、同窓会で出会った方の商品を別の参加者の病院に置くことが実現した。

【意見】

長谷川氏: 年1回OB/OGの日を企画してはどうか。継続してこそ意味がある。

25年前の愛犬わんわんフェスティバルの広告関係に携わっていたがとても好評だった。

小林氏: 卒業生が集まる機会は、

在校生・卒業したばかりの学生に卒業生の活躍している姿を見せるよい機会にもなる

鈴木氏: 在学中に就職後を見越した教育基盤が整うのは理想的で、期待している。

安部氏: 子供の意見に対して保護者がSNSに投稿することが増えてる

AIの普及により学生の提出するレポートが似通っている。対策の検討が必要。

「AIが面接」の時代なので、対策を検討してはどうか。

フラワー業界給与低い。技術面を考慮し大卒と同じ給与で対応している。

芦澤氏: 動物病院依呼びかけた

根本氏: 中学生向けのアプローチは素晴らしい。早い段階でのアプローチを見習いたい。

黒川氏: 正直な話が聞けるこの場は魅力的。改善案が明確で実際に昨年度と比較し評価が改善され

ている。募集・掲示・備品等で協力できることがあるかも。動物業界は正社員の雇用が少なく、

辞めてしまう傾向にある。卒業生が集まる機会は大切と考えており、同窓会実施には賛成。

富田氏: 今の年代で独立が増えている。

経営に苦戦している人が多く、経営学を軽くでも学べたらよいのではないかな。独立という

ゴールを見据えれば、卒業後の退職も減るのではないかな。

船倉氏: 中学生向けのアプローチは好印象。DSのエントランスがきれいになって、地域に対して誠実さを感じた。25年前のDHわんわんフェスティバルに参加し、とてもよい機会になった。同窓会は

	学校外で実施しており、学校主催の同窓会の年1回の開催は賛成。DSふれあい動物園・AIKミニコンサートの実施の際に回覧板を回したが好評。
--	---

	・次回2026年度の開催は2027年3月8日(月)を予定とする。
--	----------------------------------

	以上
--	----

6－8. 教職員研修

1. 研修方針

学園及び学校の業務に必要なスキルを計画的に教職員に習得させ、まごころと思いやりをもった職業人を育成することを目的とする。現在の業界のニーズに合った専門性と、社会人基礎力を身に付けた人材を育てる場として、専門知識の向上を行う。

2. 研修実績

期間	研修名	連携企業・団体	内容	対象	区分*
4/1-6/30	犬と猫の心肺蘇生法 ～導入から蘇生後の管理まで～	フクダ エム・イー 工業株式会社	(無料オンデマンド動画配信にて)心肺蘇生総論、胸部圧迫、人工呼吸、心電図注射薬、ショック適応波形、心停止症候群とは、自己心拍再開後の集中治療	動物看護科教員(中村)	専門
2025/4/2～	フラワーレッスン	株式会社フラワーバスケット	プライマリーコース(全5回)	植物管理科教員(津島)	専門
2025/4/10～	いぬらぼ	FULFILL Dog salon	ドッグトレーニング基礎知識学(全18回)	動物管理科教員(福島)	専門
2025/11/16	CATvocate	JSFM(Japanese Society of Feline Medicine)	猫の専任従事者を育成するためのプログラム	動物看護科教員(青柳)	専門
2025/7/31、8/1	能動的学習(職業人としての汎用的能力を養うアクティブラーニングの体験学習)	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団	アクティブラーニングとはどのような学びか、なぜアクティブラーニングが必要かを背景や考え方を通じて学ぶ。人が学ぶプロセスを「学習サイクル」から考え、より深く学びを促進できるかを検討する。	動物看護科教員(青柳)	指導
2025/7/16	動物看護師だから伝えられる、動物看護師だからこそ伝えたい「顕微鏡から動物を救うセミナー」	ペピイセミナー	顕微鏡を使用した検査のスキルアップ	動物看護科教員(渡邊)	専門
2025/5/24	服部幸webセミナー	服部幸セミナー運営事務局	膵炎のサインとその対処法	動物管理科教員(山口)	専門
2026/2/11	動物経絡温灸取扱者育成講座	CACIOコンパニオン・アニマルケア国際機構	温灸を動物に安全に取り扱いができ、かつ経路に沿って施術が出来る指導者を育成する	動物管理科教員(山口)	専門
2025/11/8	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	ベドリントン・テリアのトリミング	動物管理科教員	専門
2025/9/18	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	ミニチュア・シュナウザーを基本から学ぼう。毛質や毛流、ブラッキングの徹底解説及び実演	動物管理科教員	専門
2025/6/9～11	乗馬指導者養成講習会	公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会	一般市民に対して乗馬を安全で適正に指導できる乗馬指導者の養成	動物管理科教員(千葉)	専門
2025/10/14～10/20、2025/12/7(金)～11	RECOVER Initiative JAPAN	(一社)日本獣医救急集中治療学会【JaVECCS】	救急獣医療における心肺蘇生法	動物看護科教員(加藤)	専門
2025/3/14	第3回JaVECCS国際シンポジウム	(一社)日本獣医救急集中治療学会【JaVECCS】	重症例に対する入院管理ワークショップなど	動物看護科教員(加藤)	専門
2026/2/26～2/27	LIFOセミナー	(株)ビーコンラーニングサービス	全学生対象ビジネス共通科目指導「自己理解」プログラム	職員	職員
2025/7/24	ペットBLS検定	一般社団法人 日本ペットBLS防災学会	心肺停止の犬と猫に対する一時救命処置(BLS)トレーニング講習	職員	専門
2026/1/20	不安を力に変える!就活メンタルパフォーマンスアップ講座	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	就職等進路に関するセミナー	職員	職員
2025/8/4-8/6	新任教員研修	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会	教員認定講習会	動物管理科教員(山田)	指導
2026/3/11	廃鶏解剖学研修	えころも牧場	解剖実習を通して鶏の生体について学ぶ	動物管理科教員(山田)	専門
2026/3/5	アタッチメントセミナー	グローバルワン株式会社	アタッチメントコームの使用方法を学ぶ	動物管理科教員	専門

3. 研修計画

期間	研修名	連携企業・団体	内容	対象	区分*
2026/9/2	JKC 自主研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	プードルのショークリップ	動物管理科教員	専門
2026/11/13	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	皮膚・被毛の健康維持に重点を置いた食事管理のポイント	動物管理科教員	専門
2026/5～7	フラワーレッスン	株式会社フラワーバスケット	フラワー装飾技能士3級対策	植物管理科教員(津島)	専門
未定	乗馬指導者更新講習会	千葉地区乗馬倶楽部振興会	未定	動物管理科教員	専門
2026/6/30	日本臨床獣医学フォーラム地区大会2026 オンラインプログラム	JBVP 日本臨床獣医学フォーラム	ひふ祭り「ベッドサイドですぐに役立つ皮膚病学」	動物管理科教員(山口)	専門
2026/8/19	愛玩動物看護師教員研修会	一般社団法人 全国動物専門学校協会	愛玩動物看護師法のこれからと養成教育の展望	動物看護科教員(青柳)	指導
2026/11/15	CATvocate	JSFM(Japanese Society of Feline Medicine)	猫の専任従事者を育成するためのプログラム	動物看護科教員(青柳)	専門

* 専門・・・専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため
指導・・・授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため
職員・・・役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

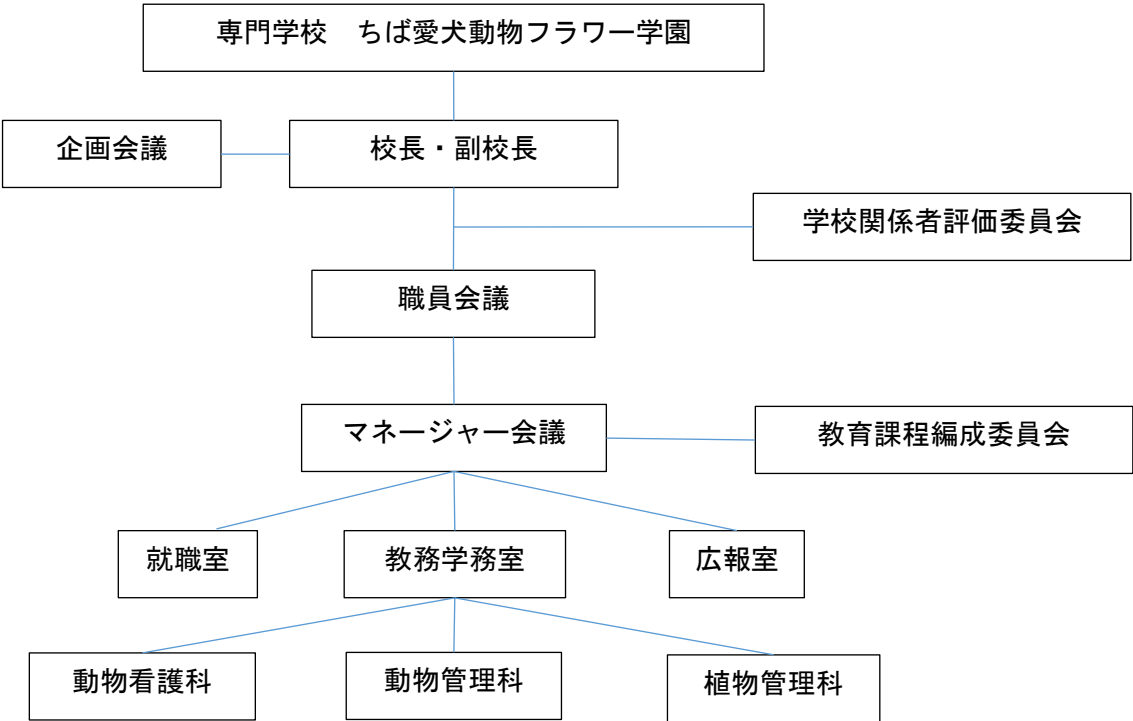
6－9．教職員・講師

○教職員数

2026年度					
男女別		専任	兼任	専任・兼任計	
教員	女	19	59	78	
	男	9	45	54	
	計	28	104	132	
職員	女	4	0	4	
	男	6	0	6	
	計	10	0	10	
合計		16	104	142	

専任教職員職名別	人数
校長	0
副校長・事業本部長	1
事業副本部長	1
事業本部長補佐	1
室長	2
その他マネージャー	2
リーダー	8
一般職	29
合計	44

○教職員の組織



○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
1	千葉 山	○		自己理解
2	小園 達郎	○		就職
3	津島 幸織	○		就職
4	荒井 千鶴	○		就職
5	鈴木 友子	○		就職
6	立石 智之	○		就職
7	青木 莉紗	○		就職
8	今関 良	○		就職
9	青柳 紘枝	○		動物医療コミュニケーション
10	加藤 麻衣子	○		動物臨床看護実習
11	佐藤 湧矢	○		基礎看護学
12	加納 奈奈	○		動物看護学概論
13	中村 琴音	○		看護実践学
14	鈴木 晴菜	○		動物臨床看護実習
15	木村 光太	○		グルーミング実習
16	奥野 亜実	○		グルーミング実習
17	村上 まりな	○		グルーミング実習
18	福島 詩菜	○		ドッグトレーニング
19	青木 春菜	○		動物管理実習
20	山田 悠暉	○		小動物ゼミ
21	眞山 大将	○		動物管理実習
22	相馬 雅代	○		キャットグルーミング
23	山口 遥香	○		キャットグルーミング
24	千葉 千尋	○		騎乗トレーニング
25	篠原 好樹	○		動物管理実習
26	今井 恵美	○		グルーミング実習
27	星 茉穂	○		グルーミング実習
28	高橋 夏樹	○		ドッグトレーニング
29	西村 壽		○	外科動物看護実習
30	渡邊 愛海		○	動物臨床看護実習
31	奥村 衣里		○	動物臨床看護実習
32	平田 繭子		○	動物看護学
33	迎 一彦		○	動物臨床看護実習
34	森本 正樹		○	動物臨床看護実習
35	蟻川 晃司		○	動物臨床看護実習
36	庭田 理恵		○	グルーミング実習
37	安間 マユミ		○	PEIAシルバー実習
38	伊賀 汐梨		○	グルーミング実習
39	蓮井 洋子		○	PEIAシルバー実習
40	佐藤 公一		○	グルーミング実習
41	川島 千夏		○	PEIAシルバー実習
42	高野 咲菜		○	グルーミング実習
43	鈴木 くみ子		○	グルーミング実習
44	杉浦 一希		○	訓練実習
45	林 奈央		○	訓練実習
46	飯坂 朋琉		○	動物管理実習
47	庭野 咲希		○	動物管理実習
48	清水 健		○	水生生物ゼミ
49	川崎 佑人		○	動物管理実習
50	荒井 将太		○	動物管理実習
51	山口 蒼結		○	動物管理実習
52	中島 花楓		○	動物管理実習
53	熊谷 凌太朗		○	キャットグルーミング
54	高橋 舞		○	動物管理実習
55	山平 玲奈		○	動物管理実習

○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
56	郷原 恵子		○	騎乗理論
57	丸尾 優菜		○	指導者理論
58	田山 かおり		○	動物管理実習
59	大塚 恵子		○	動物管理実習
60	増田 美穂		○	動物管理実習
61	飯尾 龍也		○	ドッグトレーニング実習
62	白鳥 遥		○	動物管理実習
63	大園 沙季		○	動物管理実習
64	吉森 葵		○	動物管理実習
65	杉本 直也		○	動物管理実習
66	中村 真啓		○	動物管理実習
67	西村 ひかる		○	動物管理実習
68	田久保 桜		○	動物管理実習
69	倉持 洸太		○	動物管理実習
70	岩井 柊磨		○	動物管理実習
71	嶋田 海星		○	動物管理実習
72	中村 有里		○	動物管理実習
73	琴寄 昌子		○	産業動物学
74	大野 耕平		○	動物疾病看護学
75	太田 紘平		○	公衆衛生学
76	村田 佳輝		○	動物臨床看護実習
77	櫻井 峰香		○	動物形態機能学
78	先崎 仁思		○	動物医療関連法規
79	周藤 行則		○	動物臨床看護実習
80	永井 貴志		○	ペット関連産業概論
81	遠藤 征明		○	動物臨床看護実習
82	須郷 貴行		○	動物看護実習
83	乙守 智奈美		○	動物生活環境学
84	森山 友美		○	動物臨床看護実習
85	村上 覚史		○	動物病理学
86	桑原 佐知子		○	動物繁殖学
87	星野 健浩		○	動物感染症学
88	小倉 広夢		○	動物看護実習
89	茂野 沙也香		○	グルーミング実習
90	木村 光延		○	グルーミング実習
91	栗盛 真理		○	PDマネジメント
92	湯浅 翔平		○	グルーミング実習
93	西村 沙樹		○	グルーミング実習
94	塩田 沙羅		○	グルーミング実習
95	油木 真砂子		○	エクスぺリエンス行動学
96	大井 史也		○	グルーミング実習
97	富澤 彩		○	犬学
98	小林 正希		○	ドッグプレーニング
99	千田 純子		○	イヌの健康管理学
100	外山 亜季		○	ドッグトレーニング
101	大川 隼人		○	訓練実習
102	山崎 音羽		○	訓練実習
103	細田 信幸		○	ドッグブリーディング
104	谷 瑛馬		○	ドッグコミュニケーション
105	山内 まどか		○	訓練実習
106	宗近 功		○	野生動物学
107	横川 勝章		○	水生生物学
108	滝口 準一		○	愛玩動物飼養管理論
109	祖一 俊介		○	ペット業界論
110	濱保 衣都子		○	キャットショー研究

○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
111	野口 健		○	馬の獣医学
112	青野 菜名		○	HORSE TAPING
113	岡 有美		○	HORSE TAPING
114	橋立 和子		○	ハーブ&ローズ
115	菊池 大		○	JIFD実習
116	小松 弥生		○	JIFD実習
117	南木 智子		○	JIFD実習
118	野田 誠		○	JIFD実習
119	橋口 学		○	植物造形理論
120	杉浦 幸雄		○	フラワーショップビジネス
121	茂呂 康代		○	いけ花
122	沖渕 育子		○	いけ花
123	平塚 弘子		○	いけ花
124	鈴木 博幸		○	フラワー商品知識
125	菊地 律子		○	花色彩学
126	有蘭 直美		○	フラワー装飾技能士対策
127	松本 繁美		○	ビジネストレーニング
128	中島 雅子		○	パソコン
129	勝俣 和悦		○	ペット業界論
130	古沢 真紀		○	ビジネストレーニング
131	林 由美子		○	ビジネストレーニング
132	三石 孝子		○	ビジネストレーニング